

# 事業概況

第13期

2014/4 - 2015/3



日本発、世界に冠たるバイオベンチャーでありたい

- 画期的な新薬・医療技術の開発で人類の健康と福祉に貢献する
- 日本の生命科学技術および産業の活性化に寄与する
- 常に時代の最先端を目指す

## 会長・社長のご挨拶



取締役会長 水島 徹

株主の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り誠にありがとうございます。

既に発表しておりますように、PC-SOD NE（吸入製剤）の特発性肺線維症に対する第Ⅱ相臨床試験では、高い安全性は確認されたものの、有効性を示すことが出来ませんでした。株主の皆様には、ご心配をお掛けしていることとお詫び申し上げます。

しかしながらLTTバイオフーマは今後とも、PC-SODの開発、ドラッグ・リポジショニングの推進、F-LOXとメベンゾラート誘導体の開発、北京泰徳製薬の支援、以上を中心に創薬事業を展開します。

今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 大塚 秋夫

株主の皆様には、日頃よりひとかたならぬご支援を賜りまして誠に有難うございます。

当事業年度のトピクスになると期待しておりましたPC-SOD NE（吸入製剤）の第Ⅱ相臨床試験はご期待に忘れられず、改めまして深くお詫び申し上げます。

当事業年度の業績につきましては予想を大幅に上回る受取配当金を受領したことから1,583百万円の当期純利益を計上することができました。

財務面は盤石な体制となりましたので引き続き創薬事業に邁進する所存でございますが、上場廃止などで今まで多大なご迷惑をお掛け致しました株主の皆様に対しまして1株2,000円の期末配当を実施することと致しました。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 株主の皆様へ

## 業績の概要

当事業年度の売上高は59百万円(前期比30.8%減)、販売費及び一般管理費は、「PC-SOD NE」の第Ⅱ相臨床試験の終了により研究開発費が120百万円(前期比59.0%減)と大幅に減少し、その他の販売費及び一般管理費は、支払報酬の増加等により356百万円(前期比162.4%増)となりました。その結果、営業損益は422百万円の損失(前期比20.3%増)となりました。

しかしながら、営業外収益において北京泰徳製薬股份有限公司からの受取配当金が2,228百万円と前期比で472.9%の大幅増となったことが寄与し経常利益は1,808百万円(前期比1,109.7%増)、当期純利益においては1,583百万円(前期比1,417.0%増)の大幅増益となりました。

## PC-SOD NE(対象疾患:特発性肺線維症)の第Ⅱ相臨床試験が終了しました

特発性肺線維症を対象疾患とした「PC-SOD NE(吸入製剤)」は、前事業年度において日本及び韓国での第Ⅱ相臨床試験における患者様への投与が終了し、当事業年度においては症例固定作業を行い、その有効性の評価を進めて参りました。

たが、プラセボと比較し安全性においては問題が無かったものの有効性を証明するには至りませんでした。今後、同製剤については、対象疾患や投与方法などを総体的に再検討の上、関係機関と連携して開発を継続して参ります。

# 開発中のパイプライン

## ◆ 自社開発製剤 ◆

品目及び対象疾患	基礎	非臨床	第 I 相	第 II 相
PC-SOD NE (吸入製剤) 特発性肺線維症	希少疾病用医薬品指定			
PC-SOD NE (吸入製剤) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)				
PC-SOD (注射剤) 特発性肺線維症、潰瘍性大腸炎				
ステルス型ナノ粒子PGE1 慢性動脈硬化、間歇性跛行他				
ステルス型ナノ粒子PGI2 肺動脈性肺高血圧症				
NSAID 炎症性疾患				
COPD治療薬 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)				
ジクロフェナク ドライアイ				

## ◆ 共同開発製剤 ◆

品目及び対象疾患	基礎	非臨床	第 I 相	第 II 相
PC-SOD (注射剤) 非開示	北京泰徳製薬			
AS-013 末梢血管病変	北京泰徳製薬			
ステルス型ナノ粒子 非開示	北京泰徳製薬			
ステルス型ナノ粒子 非開示	旭化成ファーマ			

# 業績及び財務状況等

## ◆ 当事業年度の業績 ◆

(単位:百万円)

	第12期 (2014年3月期)	第13期 (2015年3月期)	前期比増減
売上高	85	<b>59</b>	△30.8%
研究開発費	293	(注2) <b>120</b>	△59.0%
その他販売管理費	135	(注3) <b>356</b>	+ 162.4%
営業損失(△)	△350	<b>△422</b>	+ 20.3%
営業外収益	500	(注4) <b>2,233</b>	+ 346.4%
当期純利益	104	<b>1,583</b>	+ 1,417.0%

注1 第13期に会計方針の変更(受取配当金等の認識時期変更)を行ったため、第12期の決算数値を遡及処理によって修正

注2 PC-SOD(吸入製剤)第Ⅱ相臨床試験終了により減少

注3 支払報酬の増加により増加

注4 北京泰徳製薬の高額配当実施により受取配当金が大幅に増加

## ◆ 2016年3月期の業績見通し ◆

(単位:百万円)

ドライアイを対象疾患としたジクロフェナク点眼剤第Ⅱ相臨床試験の実施をはじめ引き続き着実な研究開発の推進を基軸とした事業活動を推進して参ります。

売上高	<b>40</b>
営業損失(△)	<b>△345</b>
当期純損失(△)	<b>△213</b>

## 業績及び財務状況等

(単位:百万円)

	第12期 (2014年3月末現在)	第13期 (2015年3月末現在)
<b>流動資産</b>	<b>1,215</b>	<b>3,217</b>
現金及び預金	821	736
未収入金	382	(注2) 2,231
<b>固定資産</b>	<b>62</b>	<b>70</b>
有形固定資産	2	2
投資その他の資産	60	68
<b>資産合計</b>	<b>1,278</b>	<b>3,288</b>
<b>負債合計</b>	<b>116</b>	<b>538</b>
未払金	62	(注3) 293
未払法人税等	39	(注4) 225
<b>純資産合計</b>	<b>1,162</b>	<b>2,750</b>
株主資本	1,157	2,740

注1 第13期に会計方針の変更(受取配当金等の認識時期変更)を行ったため、第12期の決算数値を遡及処理によって修正

注2 北京泰徳製薬からの受取配当金の未収計上により増加

注3 受取配当金に係る支払報酬の未払計上により増加

注4 受取配当金に係る外国税の未払計上により増加

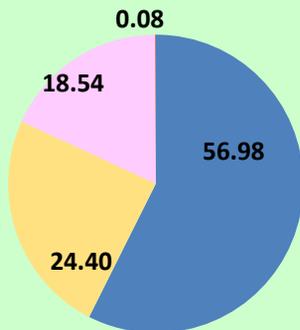
# 株式情報

## ◆ 大株主の状況 ◆

(2015年3月末現在)

氏名または名称	所有株式数	所有割合
北京泰徳製薬股份有限公司	25,320	19.20%
一般財団法人水島記念財団	23,375	17.72%
外国法人	6,500	4.92%
個人	4,044	3.06%
個人	3,515	2.66%
個人	2,651	2.01%
個人	2,535	1.92%
個人	2,354	1.78%
個人	2,200	1.66%
個人	1,670	1.26%

## ◆ 投資家別保有株式数分布状況(%) ◆



株主数 4,657名  
発行済株式数 131,868株

- 個人・その他
- 外国法人等
- その他の法人
- 金融商品取引業者

# 会社情報

## コーポレートデータ

名称： 株式会社LTTバイオフーマ  
所在地： 〒105-0022東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング3階  
TEL： 03-5733-7391 FAX： 03-5733-7397  
設立： 2003年（平成15年）1月  
創業： 1988年（昭和63年）4月（株式会社エルティーティー研究所）  
資本金： 1億円

## 役員及び会計監査人

取締役会長	水島 徹
代表取締役社長	大塚 秋夫
取締役	関根 準三
取締役	大谷 培夫
取締役	謝 炳
取締役	鄭 翔玲
取締役	張 健
監査役	熊谷 鈴司
会計監査人	東陽監査法人

## リレーション

資本・業務提携  
共同研究先

北京泰德製薬股份有限公司  
慶応義塾大学  
聖マリアンナ医科大学  
日本大学



北京泰德製薬股份有限公司

# 株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ＜お問合せ＞ <b>0120-232-711</b> ＜各種手続用紙のご請求＞ 東京 <b>0120-244-479</b> 大阪 <b>0120-684-479</b> ＜お手続き＞ 三菱UFJ信託銀行 本店・各支店
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ltt.co.jp">http://www.ltt.co.jp</a> ※ただし、電子公告によることができない 事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。